

【まちぐらし検討会議用資料】  
「ローカルマーケットin大町改良ひろば」  
開催概要/振り返りと  
今後の展開について

2022年3月25日

# 「ローカルマーケットin大町改良ひろば」開催の背景



- 2020年6月頃より、蒲生商事様にて大町改良住宅1F店舗エリア部分のリノベーション、テナントオープンがスタート
- 2021年6月頃より、隣接する北海道警官舎(市有地)の取り壊しが開始、取り壊し後の市有地利活用について、蒲生商事様より函館市、及び当社にご相談頂いたもの
- 当社としても、①函館市が保有する低未利用不動産の利活用、②大町電停付近への若年層誘致(将来的な居住誘導を含む)のきっかけ、③地域若手リーダーの事業支援を通じたまちづくりの加速、といった観点から当地の利活用について検討を開始
- 来年度以降の利活用コンセプト設計に向け、①事業性やコンセプト設計の判断、②住民認知/ファンづくりを目的にイベント形式での利活用を開催したもの

# 「ローカルマーケットin大町改良ひろば」概要



- 開催日時 2021年10月23日(土) 12:00~16:00  
10月24日(日) 11:00~15:00

## 出店者

焼菓子ホテル(元町/スコーン、マフィン、クッキー等)

#fff(花、観葉植物)

無印良品(シエスタ五稜郭/生活用品、食品等)

amber vintage(宇賀浦町/古着)

flaky-lasy(知内/イラスト等)

tombolo(元町/パン、野菜等)

いどはど(大町/コーヒー、ラップサンド)

※大町改良住宅1F店舗と合わせて11店舗が参加



- 入場者数

23日(土)/309人 24日(日)/374人 計683人

- 準備期間、告知期間が短かったにも関わらず、予想以上の来場者を記録
- 参加者、地元住民、行政等へも大町エリアが変わり始めていることをアピールすることが出来、同エリアの継続的な利活用への展開につなげることが出来た
- 20代、30代の来場者が多く、出店者及び蒲生商事様をハブとした将来世代のコミュニティ形成を強く感じられた
- 駐車場の整備は引き続き課題

# 当日写真①



## 当日写真②



# 今後の利活用の方向性

---

来年度からの継続的な利活用に向け、

- 公共空間の利活用という公益性(≡機能性)と継続可能性(≡収益性)を踏まえた活用方法
- 町会など、地域の方々を巻き込みながら、エリアの利活用を進められるような整備方法

の2点を踏まえながら、再整備のコンセプト設計を検討しています。